



IJM

07.17.2021

# オンラインにおける子どもの 性的搾取（仮訳） ありふれた風景の中に潜む犯罪

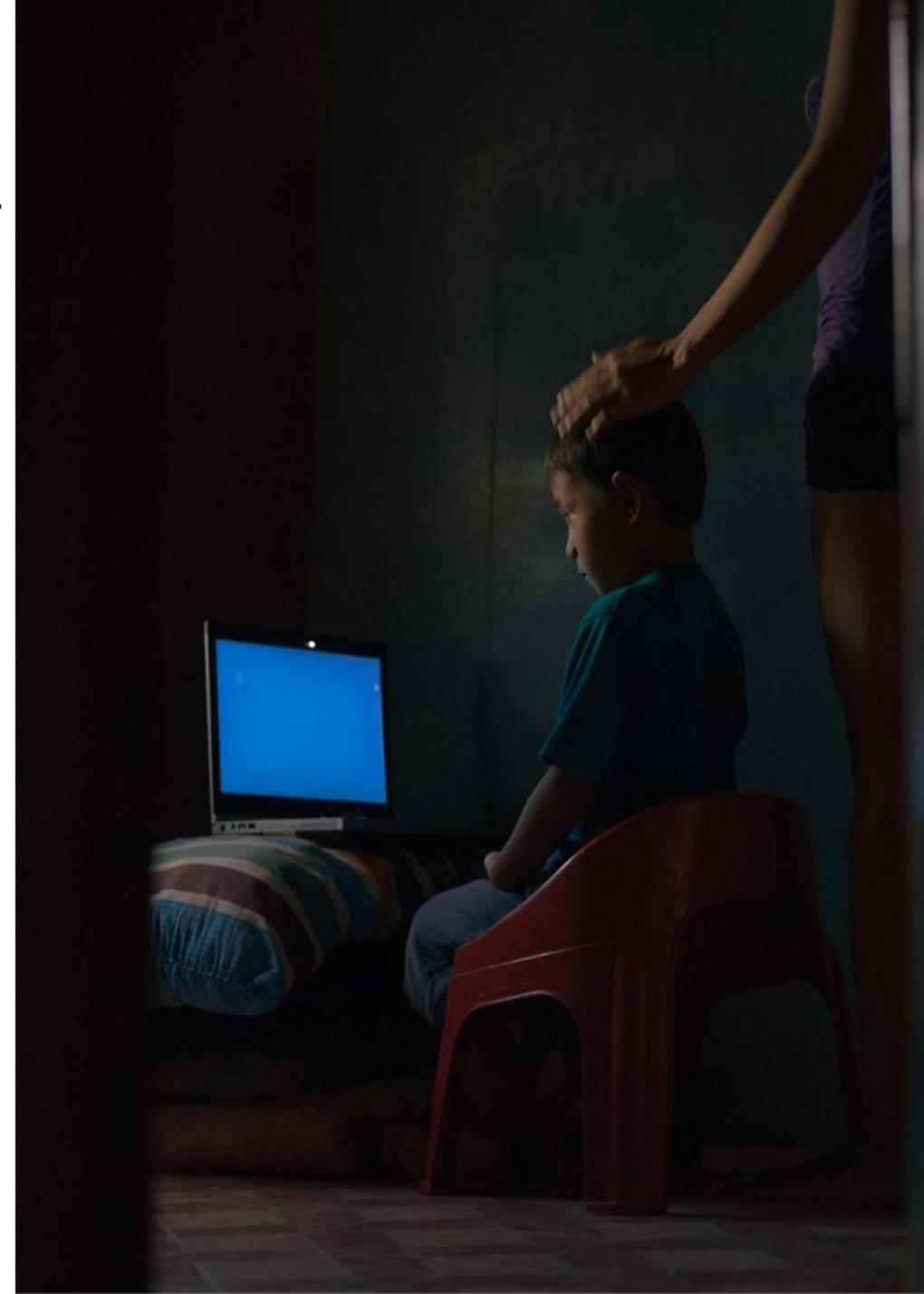
Ms. Mary Girlie Glen Tupas | Mr. Andy Alegre

International Justice Mission

# 概要

- インターナショナルジャスティスマッション (IJM) の概要
- 変化の法則
- パンデミック時のフィリピンの子どもたちの現状
- フィリピン国内のオンラインにおける子ども  
性的搾取 (OSEC) について
  1. オンライン性的搾取: 犯罪
  2. オンライン性的搾取研究の概要
  3. 解決策: 総合的な戦略
- 信仰共同体の役割と対応、協力の力

※写真に写っている子供たちは実際の被害者ではなく、再現されたものです。



## IJMについて

インターナショナル・ジャスティス・ミッション (IJM) は、貧困に苦しむ人々を暴力から守るためのグローバルな組織です。

## ビジョン

私たちの2030年ビジョンは、何百万人もの人々を救い、5億人を保護し、貧困に苦しむ人々のための正義を実現することです。



# 使命

私たちは、以下によって貧困に苦しむ人々を暴力から守ります。



司法制度を強化する



被害者を救出し、回復させる



犯罪者を裁く



保護の要求を高める

# 変化の法則

暴力的な犯罪者の責任が問われることで、弱い立場にある被害者への虐待は劇的に減少します。

効果的な刑事司法制度は、救出された子どもたちだけでなく、虐待を受けることのない**何千人、何百万人**もの子どもたちを守ることができます。

# バーや路上での子どもの性売買

80%

性交渉に応じる子ども  
の割合の減少

# パンデミック時の子どもたちの状況

- 2千200万人のフィリピンの子供たちが学校に通っていません。
- 学校は閉鎖され、子どもたちはオンラインまたはモジュール式の授業を受けてません。
- 18歳以下の子供たちは、ロックダウンされているため、外出することができません。
- 200万人のフィリピン人が職を失いました。



「ロックダウン中にOSECの発生率が増加するのは、時間に余裕のある海外の児童性犯罪者からの需要が高まっているためと考えられます。子供たちは今学校に行かず、家に閉じこもっており、人身売買業者と同居している可能性もあります。このように、新型コロナウイルスのパンデミックによるロックダウンは、オンラインでの子どもの虐待にとって最悪の事態をもたらしているのです。」

Atty. Lucille Dejito, Director, Cebu Field Office, IJM

# フィリピンでのロックダウン中

(2020年3月15日～2021年7月7日)

48

フィリピンの法執行機関が主導する救助活動

212

犠牲者やリスクのある人を保護する

35

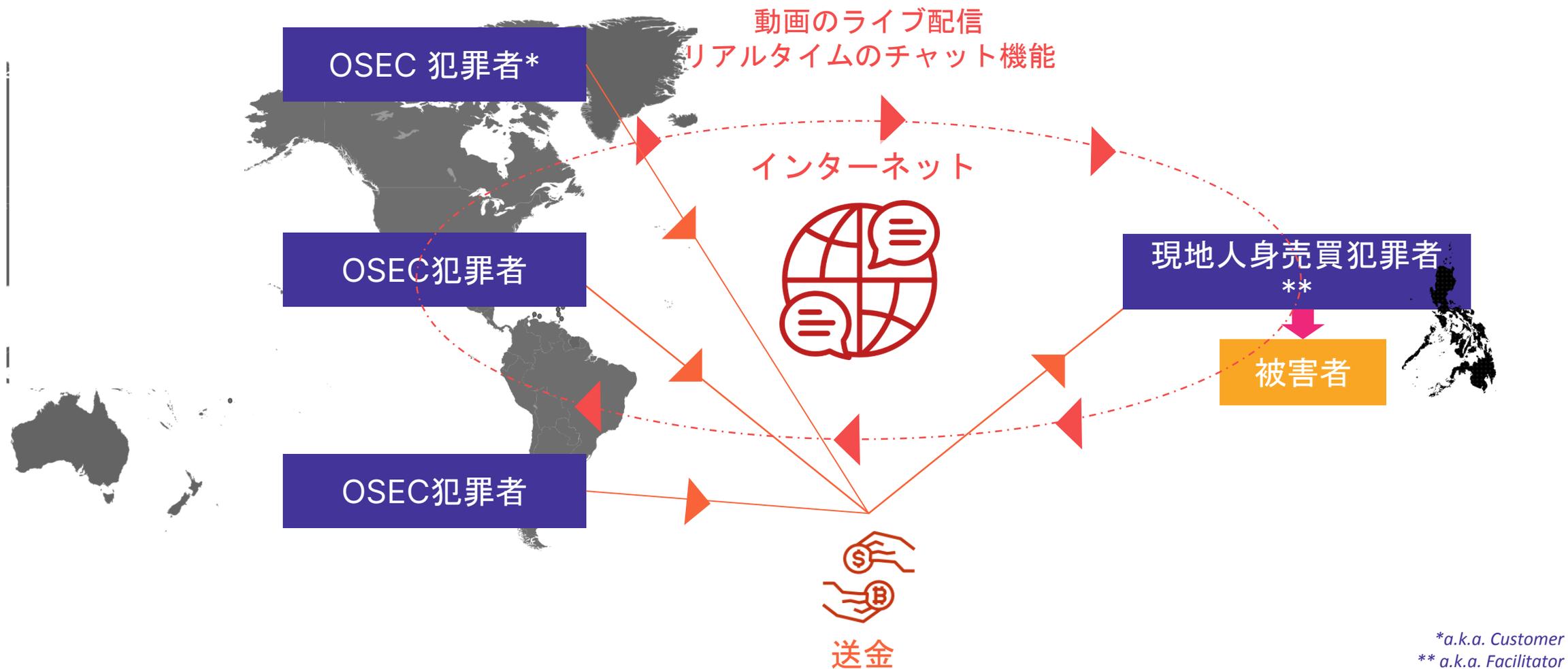
オンライン性的搾取の容疑者の逮捕

# オンラインにおける子どもの性的搾取の概要

## OSEC

- オンラインで性犯罪者が子どもを直接操作したり、「グルーミング（子どもに取り入れる）」をし、過去に作成された人身売買被害者が関与するコンテンツを含む子どもの性的搾取素材（CSEM）を配布したり、新しいCSEMを作成するために大人が子どもを人身売買したりすることなど、オンラインにおける子どもの性的搾取（OSEC）の形態があります。これらの新しいCSEMは、写真、ビデオ、またはライブストリーミングによる虐待の形をとり、しばしば商業的に（何らかの報酬（通常は金銭）と引き換えに）制作されます。

# 代表的なOSECの手法

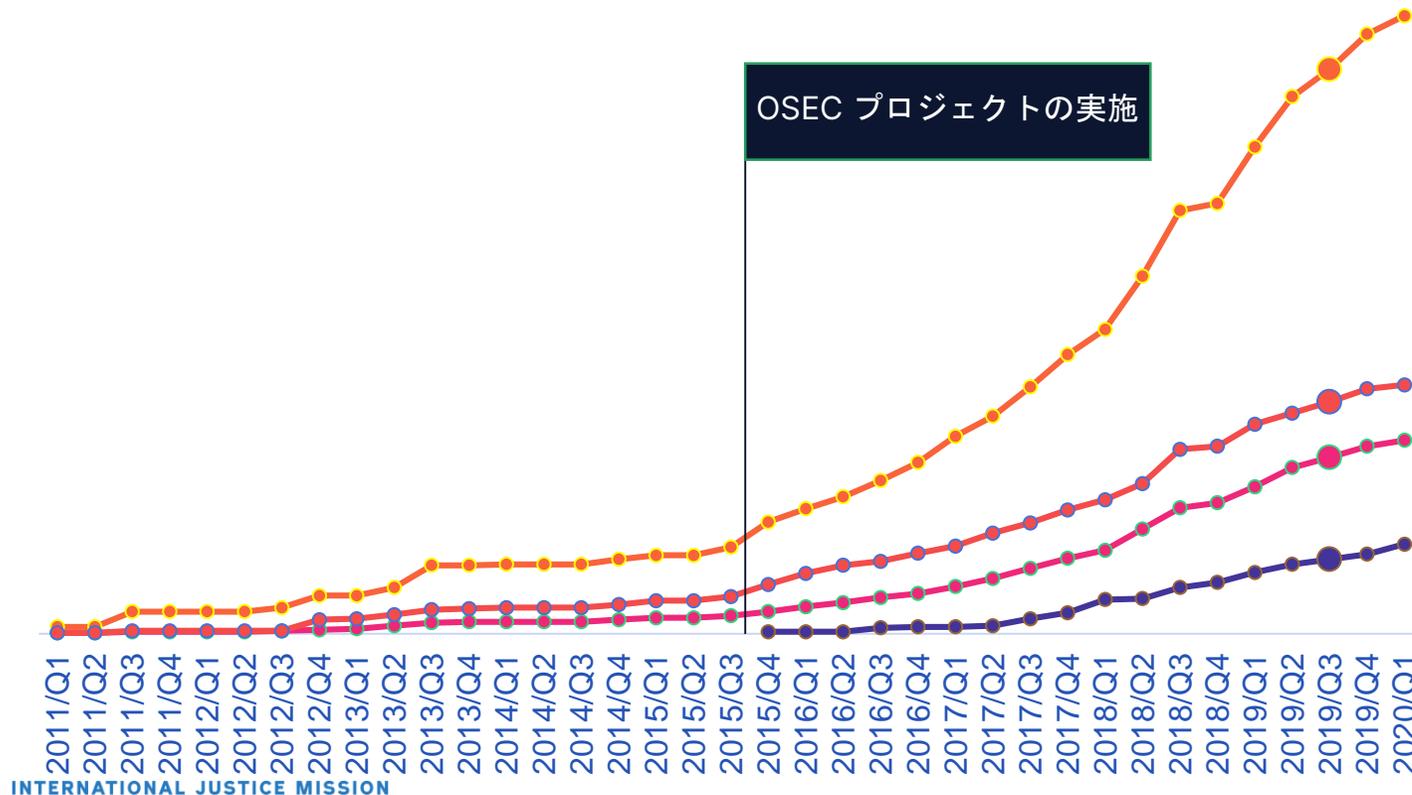


# インターナショナル・ジャスティス・ミッションが支援する事例

司法制度のパートナーシップがもたらす実効力

協働型ケースワーク

結果: 2011-2021/第2四半期



828

救出



293

逮捕



248

LE オペレーション



122

司法省有罪判決

# 統計

45%

12歳以下のOSEC被害者

62%

被害者の両親、親戚、または近親者の友人によるOSEC加害者

37%

兄弟によって救出された被害者

20%

男児の被害者

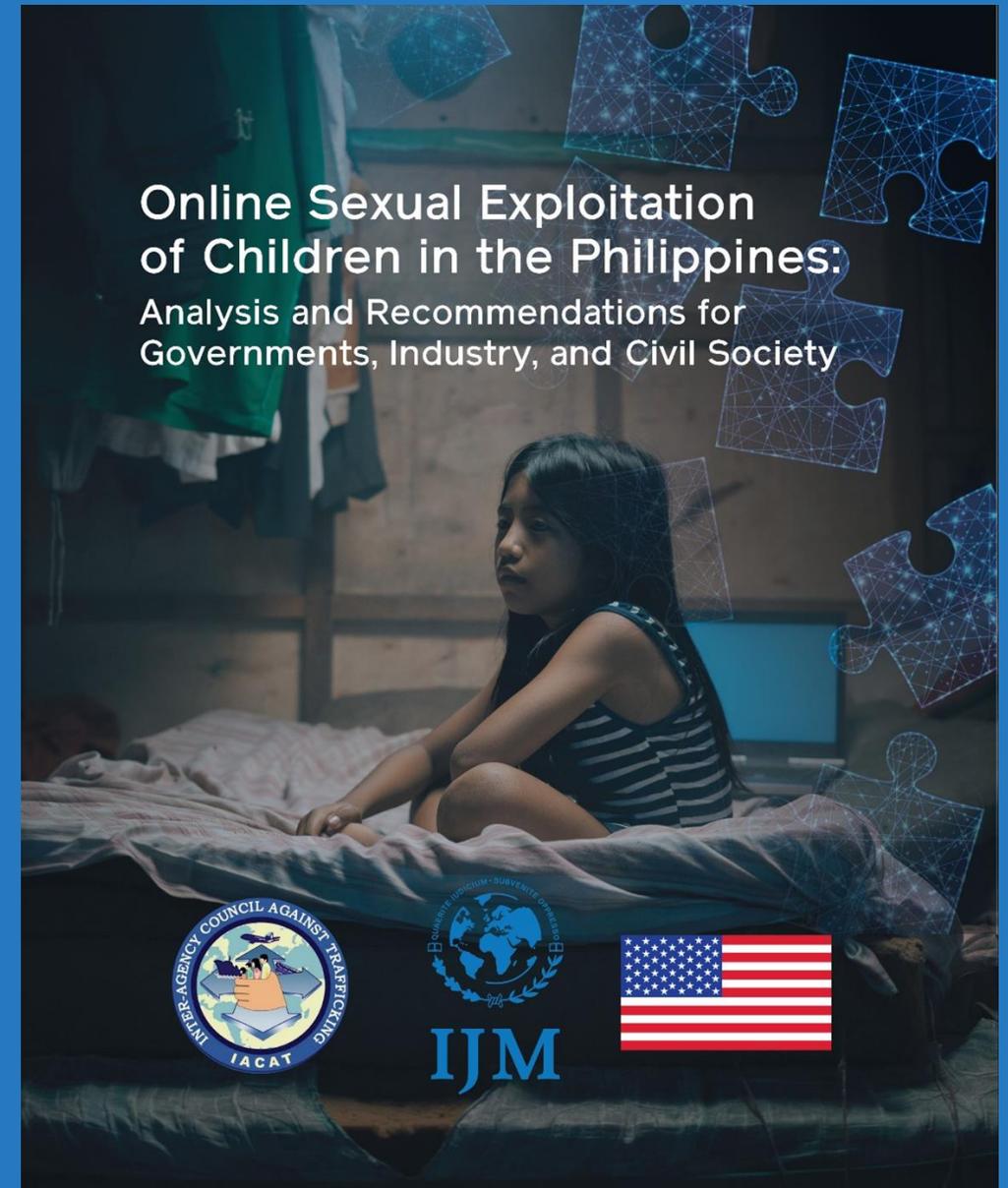
IJM-supported cases from 2011 to March 2021

米国に拠点を置くNational Center for Missing & Exploited Childrenは、2019年に電子サービスプロバイダーなどから受け取ったサイバー・チップラインレポートに関連する日付を公開しました。NCMECは、ASEAN加盟国を含む242の国または地域に対し、あらゆる形態のオンラインでの児童の性的探求に関連するサイバーチップを公開しました。以下の表は、ASEAN加盟国の2019年のサイバーチップ総数、サイバーチップ数による世界ランキング、サイバーチップ数を人口で調整した世界ランキングを示したものです。

国	サイバーチップ	世界ランク (サイバーチップ)	世界ランク (一人あたりにおけるサイバーチップ)
フィリピン	801,272	6位	15位
マレーシア	183,407	20位	23位
カンボジア	91,458	27位	26位
タイ	355,396	13位	28位
ブルネイ共和国	2,070	139位	35位
ミャンマー	233,681	18位	42位
ベトナム	379,554	12位	46位
ラオス	23,599	67位	57位
インドネシア	840,221	4位	58位
シンガポール	18,426	73位	66位

# OSEC 研究

- 2010年～2017年までのデータ
- 政府、NGO団体を含む14団体とパートナーシップを協定
- 調査結果と提言
- 参考資料: [ijm.org/studies](http://ijm.org/studies)
- 動画: [youtube.com/IJM](https://youtube.com/IJM)



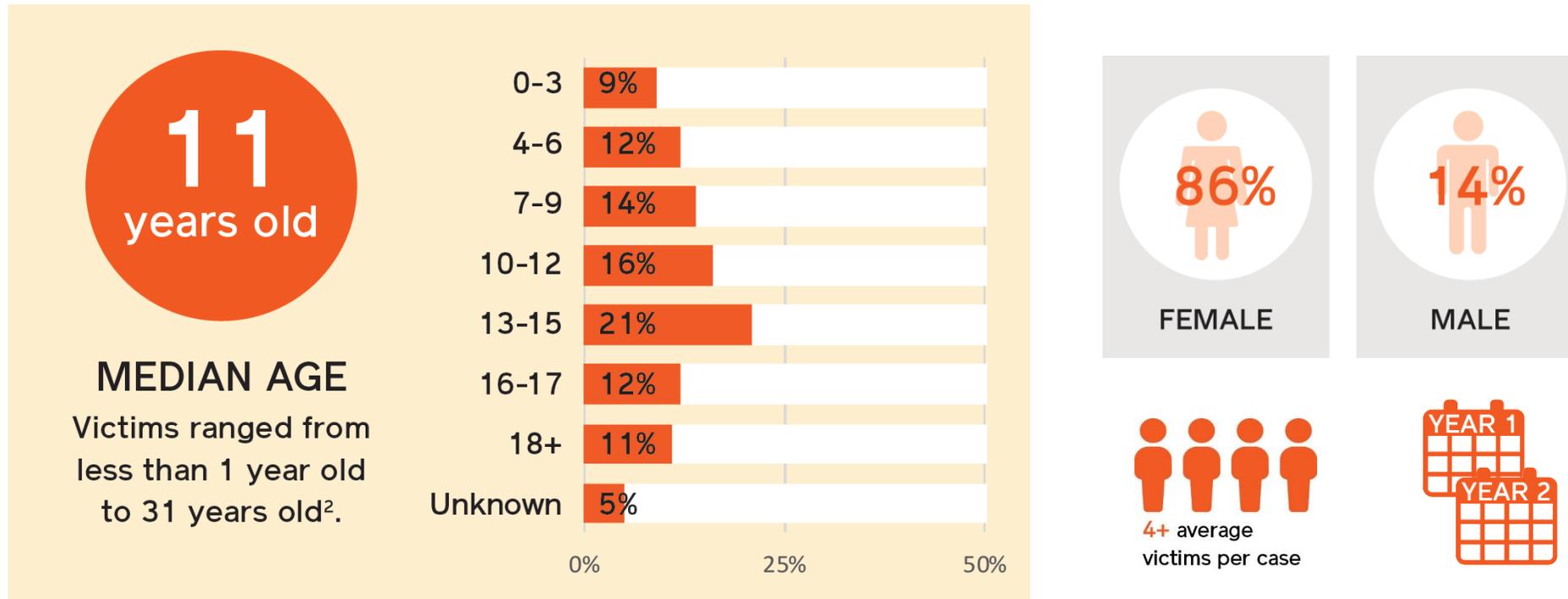
# 調査結果

- OSECは仮想的な虐待ではない。
- OSECは世界的な対応を必要とするグローバルな問題である。
- フィリピンはOSECの世界的なホットスポットとして知られている。
- フィリピンは、OSEC対策の最前線にいる。

# 調査結果

## OSECの性質

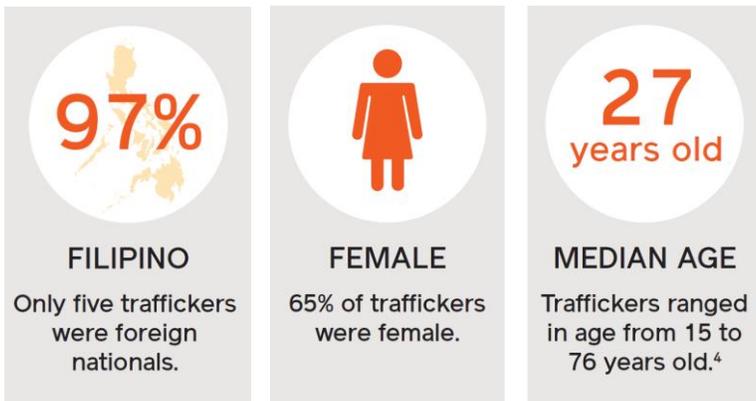
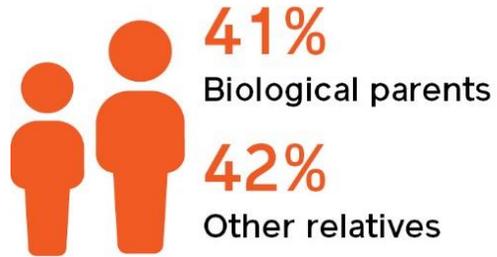
### OSECの被害者の性質



# 調査結果

## OSECの性質

### OSEC 犯罪者の性質



#### The OSEC Offending Process

##### SURFACE OF THE INTERNET

Most traffickers communicated and exchanged materials with customers on the surface of the web (as opposed to the dark web).



**ENGLISH**  
All traffickers communicated in English.

##### FINANCIAL MOTIVATION

Evidence was able to confirm that there was a commercial element (e.g. exchange of CSEM for money) in 83% of all cases.



# 調査結果

## OSECの性質

### OSEC 需要重視する犯罪者の性質

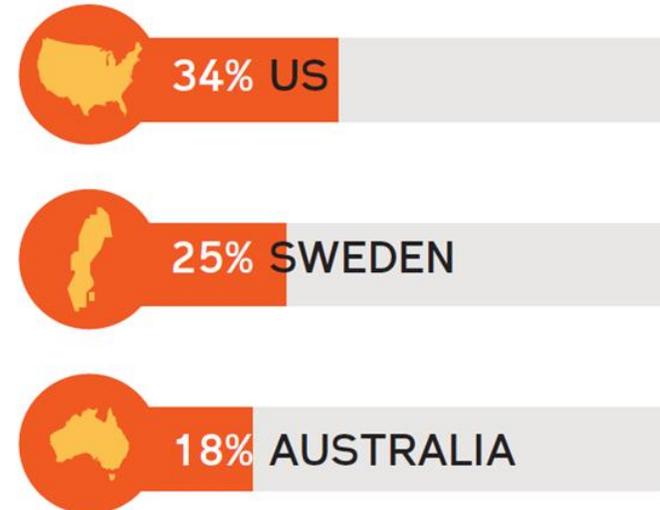


Customers tended to be from Western countries.

39% of cases involved customers who were known to have traveled to the Philippines at some point in their lives.

9% of cases involved customers with a known history of contact abuse of children in the Philippines.

EN



# 問題

OSECは世界的に広く普及し、成長しています。

政府や民間企業の関係者は、  
OSECから子どもたちを効果的に守っていません。



OSECは、ハイテクや金融分野のプラットフォームではほとんど発見されない。



OSECは技術・金融分野のプラットフォームではほとんど報道されていない



OSECに対する国際的な政府の協力は不十分である



需要側の判決が弱い



戦略的供給国の公的司法制度は効果的に機能していない

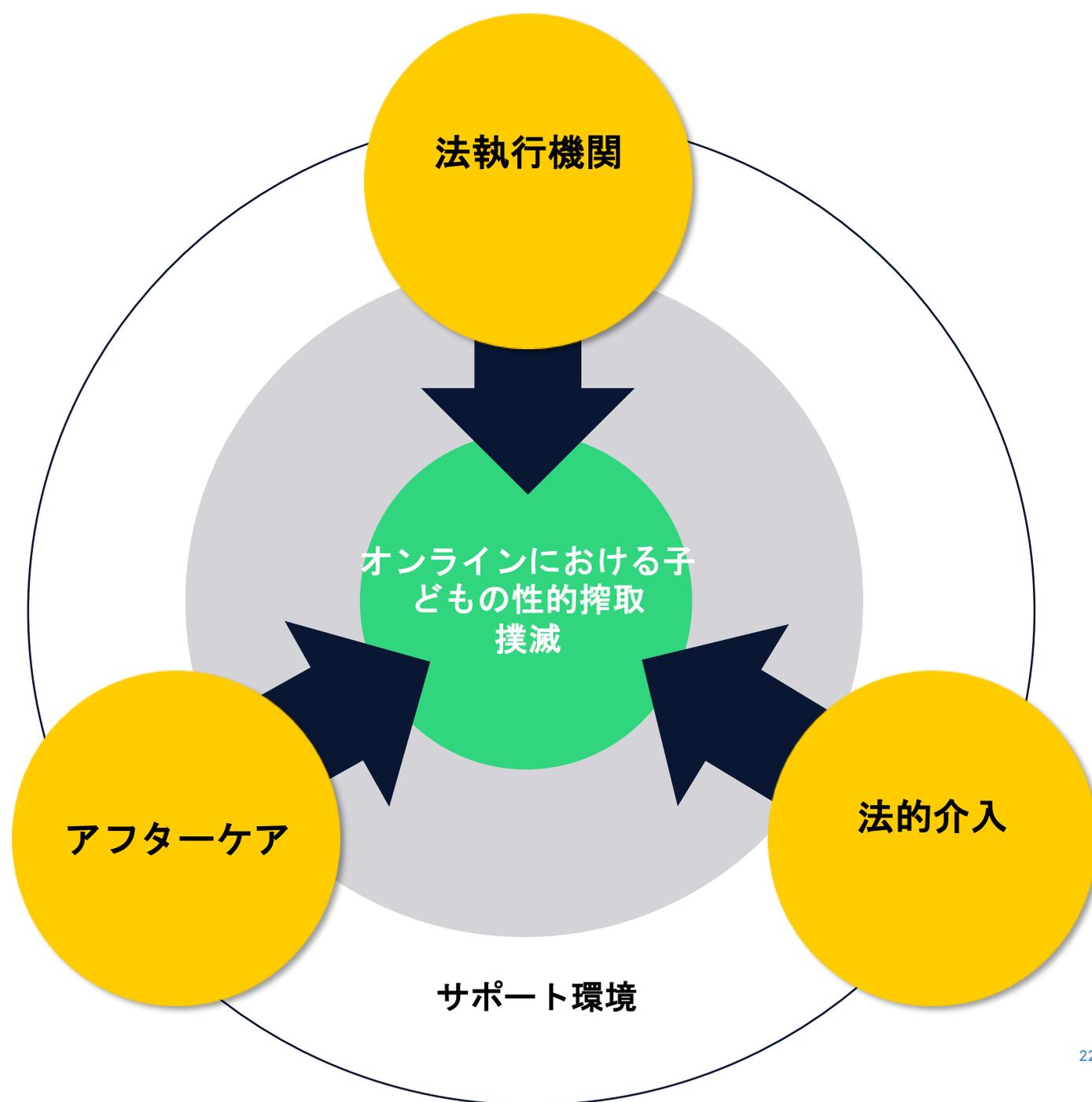
# 解決

INTERNATIONAL JUSTICE MISSION



# OSECを終わらせる ための計画

## 調整された戦略



信仰の共同体として、  
認識を高め、防止活動  
に参加し、OSEC被害  
者（サバイバー）に癒  
しと回復をもたらすこ  
とができます。

# 9

## コラボレーションとパートナーシップのモデル

信仰の共同体の活動



IJM

#1

# Philippine Interfaith Movement Against Human Trafficking (PIMAHT)

INTERNATIONAL JUSTICE MISSION



Philippine Council of Evangelical Churches  
WORKING TOGETHER WITH GOD



使命

“  
フィリピンにおける  
人身売買の根絶を目指し  
充実した生活を実現するための  
宗教コミュニティ。”

#2

 FreedomSundayNetwork

Partner with us!  
Pray with us!

**PRAY WITH US**  Every Sunday 6:00pm  
FreedomSundayNetwork

**JOIN** the Freedom Sunday PH Campaign!  
Register at: [bit.ly/freedomsundayph2020](http://bit.ly/freedomsundayph2020)

# FREEDOM SUNDAY PHILIPPINES 2020

**#ENDOSEC** End Online Sexual Exploitation of Children



# FREEDOM SUNDAY

2020 Campaign  
Begins

## OPENING EVENT

ONE in PRAYER. ONE in ACTION.  
Protect, Restore, Empower  
Partner with us to #EndOSEC!

September 20, 2020 | 2:30pm

 **LIVE** FreedomSundayNetwork



PHILIPPINE CHILDREN'S MINISTRIES NETWORK  
Training and empowering the Christian agencies to children at risk



  
Samaritan's Purse



#3

フィリピン  
シーワークス  
メイドインホ  
ープ





# #4

## ナザレン教会

ナザレン・コンパ  
ッショネート・ミ  
ニストリーズ

## シェケム子供の家





#5

ホーリー・  
スピリット  
シスターズ

サバイバー  
センター





#6

**SMEIDFI**

セント・メアリー・  
ユーフラシア  
統合開発財団

グッド・シェパード・  
シスターズ





#7

ファーストラブ  
インター  
ナショナル・  
ミニストリーズ





#8

AMG

バハイ・  
シルンガン





**AMG BAHAY SILUNGAN INC.**

RAISE children to a better future



#9

フィリピン  
チルドレン  
ミニ・ネット  
ク  
(PCMN)





# PCMN Second Quarter Meeting

June 30, 2020 @ 9am-12nn

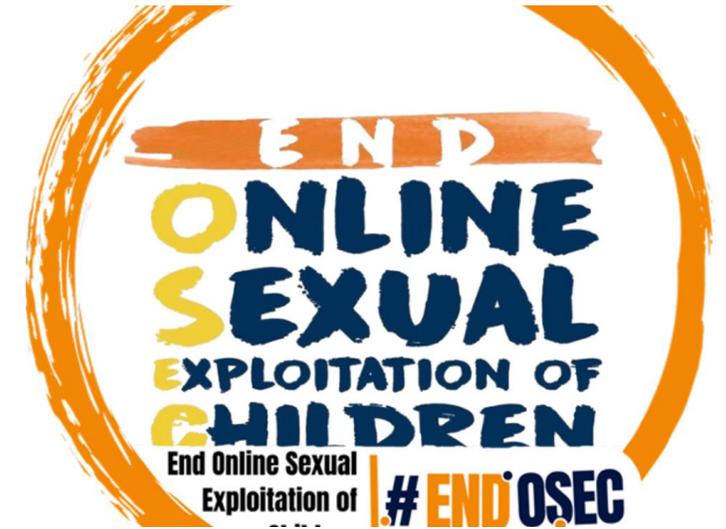
Theme:

## “Parenting in COVID Times.”

TO KNOW MORE CONTACT:

Philippine Children Ministries Network  
3/F The Evangelical Center, #62 Molave Street,  
Project 3, Quezon City, PH 1102

pcmn2016@gmail.com | +632 8961 3823 | www.thepcmn.org



子供たちは、私たち  
を必要としています

。信仰の共同体として  
、私たちは協力して  
終結させましょう。

Thank you!



**#EndOSEC**

# 最新情報はこちら



@ijmph – IJM Philippines



<https://www.facebook.com/ijmph>



[www.twitter.com/ijm\\_ph](http://www.twitter.com/ijm_ph)



**In 2021, we resolve to seek justice for more children trafficked into online sexual exploitation.**



**Partner with  
INTERNATIONAL JUSTICE MISSION®**

**Gigi Tupas**  
mtupas@ijm.org  
+63 915 4313 841 Viber / WhatsApp

**IJM.org**